クランの土地と神話世界にかかわる知識の継承–オーストラリア北部ヨルングの現代的実践

窪田幸子（神戸大学）

2014.1.13.

0　はじめに

〇アボリジニの神話世界、ドリーミングとは
　精霊の活躍するストーリー
　すべての起源
〇ヨルングの神話世界

〇神話世界のリアリティの高さとそれをささえるもの
　懐胎、夢見、儀礼の装置

1　アーネムランドの調査地

オーストラリア北部アーネムランド、北東海岸部

ヨルング(Yolung)　人口6千人前後

20世紀初頭から　定住化、キリスト教ミッション

1970年代から　　自律自営政策、市場経済

1990年代から　　さらなる経済的変化

通信技術の劇的変化

社会関係の変化

⇒　若者の伝統離れ、という語り

地図１　アーネムランドと調査地

2　伝統的知識の教授

学校での「文化週間」

　子供たちに「伝統的知識」を教える特別授業

　子供たちを、半族と氏族、年齢、性別によってグループ化、それぞれの氏族の年長者の男女が教室と村で、土地の神話を教える

　子供たちはグループごとに歌と踊りを学ぶ。年齢、ジェンダーによるグラデーション

　　最終日にそれぞれのグループごとに学んだ踊りを披露する

3　マウルロムでの伝授

2007年からのプロジェクト

　ヨルングの伝統的世界観、知識伝達、調停のありかたを学ぶプロジェクト

　法学にかかわる人々を中心に、毎年多数の参加者

　一週間のキャンプ生活

　狩猟採集なども含め、ヨルングの神話世界、儀礼世界を理解

⇒　最終的にヨルングの和解構築儀礼、マウル･ロムを学び、ヨルング独自の紛争解決方法を知る

★若者の積極的な関与

4　ある海難事件

2012年に、A村で起きた事故

　海岸に面した村

　浜辺で遊んでいた10代の女の子3人が波にのまれる

　釣りをしていた23歳のGとそのイトコが少女たちを救助

　Gが溺れる

　翌朝、浜に遺体が上がる

　少女を救うために、犠牲となった英雄的行為として、大きな注目を集める

⇒　A村の浜の閉鎖

　　賠償についての議論

おまけ・・・

1970年代　キリスト教リバイバル

カリスマティックなキリスト教集会

興奮して倒れる人々

異言、ビジョン、夢などの多用

神の存在を感じる出来事の多発

大きな宗教的盛り上がりをみせた

キリスト教の柄枠組みであるが、神的世界とつながることへのアフィニティの高さ

5　おわりにかえて

ヨルングの伝統的知識の危機？
　儀礼、神話世界は強く維持されている
　子供たちを含め、儀礼へのかかわりは強い

クランの土地の権利についての複雑なローカルな歴史
　現代的文脈、経済的価値にもつながるもの
　日々の具体的な出来事を通じて、リアリティとする回路がある